

編集後記

『とびら』の中で、牧田氏が指摘されているごとく、全般的傾向としては、理学療法の対象患者は確実に高齢化している。だれもが一日でも長生きしたいと願っている。そして、温熱効果に悩む地球上で医療の恩恵をもっとも甘受しているのが日本人である。しかし、長寿社会を迎える医療を含む福祉制度は後手に回っている。

一方、長寿社会にもかかわらず、それを体験できないかもしれない『先天性疾患』という十字架を背負って誕生する生命体がある。

本号の特集ではこれまで本誌でもほとんど取り上げることのなかった、言わば少数派かもしれない『先天性疾患』に焦点を合わせ、それらの多岐に及ぶ症状と長期的視点に立ったキュアとケアについて、理学療法が提供しうることを、またしなくてはならないことなどについて各氏に執筆いただいた。

それぞれの論文を拝読し、学ぶことが多く、かつ行間から滲み出るプロ意識に感銘した。

つい最近、67歳のアテトーゼタイプの脳性麻痺患者(女性)に会った。40歳のころの転倒による下肢の骨折以来歩行不能でセルフケアも自立していないが、少なくとも長寿を楽しまれているという印象を受けた。それに理学療法士が一役買っているのは喜ばしい。

「講座」として、「理学療法評価・5」、「科学としての理学療法学・5」をそれぞれ吉尾氏、富田氏に執筆いただいた。われわれが行なうほとんどのテストはいわゆる作作的である。それは科学的であるための条件ではあるが、自然に生活している患者の姿をトータルにとらえるための目配りがその背景になれば、科学は単に人を切り刻む凶器にもなりかねない。

「PT 最前線」では、福祉と直結した戦場で、クライアントを護る理学療法士の一人、山本氏に登場願った。自称口下手で、その容姿はお世辞にも輝いているとは言えないが、“男は仕事で勝負や”と迫る迫力には敬服する。

(奈良 勲)

理学療法ジャーナル

(第23巻 第5号)

1989年5月15日発行(毎月1回15日発行)

1部定価 1,391円(本体1,350円)

(配送料60円)

〔年ぎめ予約購読料 15,821円〕
(本体15,360円)
(送料弊社負担)

発行 株式会社 医学書院

代表者 金原 優

〒113-91 東京都文京区本郷5-24-3

電話 社内案内(03)817-5600

本誌編集室直通(03)817-5703

(担当:渡邊・細田)

販売部直通(03)817-5659・5660

広告室直通(03)817-5696

ファクシミリ(03)815-7802

振替口座 東京 7-96693 番

印刷所 三報社印刷(株) 電話(03)637-0005

広告申込所 (株)医薬広告 電話(03)814-1971

Published by IGAKU-SHOIN Ltd. 5-24-3 Hongo, Bunkyo-ku, Tokyo © 1989, Printed in Japan

本誌の内容を無断で複写・複製・転載すると、著作権・出版権の侵害となることがありますので御注意ください。

●編集顧問●

天 児 民 和
九州労災病院名誉院長

五 味 重 春
東京都立医療技術短期大学
学長

津 山 直 一
国立身体障害者リハビリテ
ーションセンター総長

横 山 巖
七沢リハビリテーション
病院脳血管センター院長
(五十音順、以下同じ)

●編集委員●

安 藤 徳 彦
神奈川リハビリテーション
病院

上 田 敏
東京大学リハビリテ
ーション部

鶴 見 隆 正
高知医科大学附属病院

奈 良 勲
金沢大学医療技術短期大学部

福 屋 靖 子
筑波大学

松 村 秩
東京都立医療技術短期大学

吉 尾 雅 春
協和会病院

●編集同人●

伊 藤 日出男

今 川 忠 男

宇都宮 初 夫

大喜多 潤

大 田 近 雄

大 峯 三 郎

金 子 誠 喜

菊 地 延 子

木 山 喬 博

工 藤 俊 輔

佐々木 伸 一

高 田 京 子

高 橋 正 明

田 口 順 子

武 富 由 雄

寺 山 久 美 子

富 岡 詔 子

橋 元 隆

半 田 健 壽

藤 沢 し げ 子

前 田 哲 男

牧 田 光 代

松 沢 博

丸 山 仁 司

宮 本 省 三

山 下 隆 昭

米 田 睦 男